

## 日韓対照言語表現研究

— 日本語の体言的表現と韓国語の用言的表現 —

### The Japanese-Korean expression-style differences viewed from contrastive linguistics

— The Japanese nominal sentence and Korean declinable sentence —

平木 孝典

Takanori HIRAKI

Hitherto, in the field of Japan-Korea contrastive linguistics study, mainly the study of grammar and syntax has been conducted. As a pioneer, Dr. Im Pal-yong (林八龍) has developed the new study domain in the research field of language expression. This paper took up the Korean declinable word sentences that approximately correspond to the Japanese substantive word sentences. The analysis based on linguistic data found the structural pattern that the Japanese substantive word sentence tends to take a form of a declinable word sentence in Korean language.

The adnominal form which a noun modifies a noun and a noun that changeable to SA-row verb, are the characteristic examples of the Japanese nominal representation. A questionnaire survey showed that most Japanese tend to use the substantive word sentence. However, it is necessary to point out that the Korean expression does not necessarily take the declinable word form. The research showed us a sign of a fluctuation of word usage in Korean language. The expansion of database based on the current language situation would help to promote the study.

#### はじめに

韓国語は日本語と語順や単語などが似ているところから、学習しやすい外国語の一つに挙げられている<sup>(1)</sup>。例えば、家族「가족・カジョク」、約束「약속・ヤクソク」、無料「무료・ムリョ」などはその音が似ているが、これは漢字（音読み）のハングル読みに限っており、固有語の読み方では、目「눈・ヌン」、鼻「코・コ」、台所「부엌・プオク」、空「하늘・ハヌル」、愛「사랑・サラン」など

には、共通点が見出せない。動詞や形容詞を見ても、行く「가다・カダ」、寝る「자다・チャダ」、近い「가깝다・カカッタ」、明るい「밝다・パクタ」などにも同様である。<sup>(2)</sup>言葉の使い方では、「薬を飲む」は韓国語では「薬を食べる・약을 먹다」と言い、「勉強する」は「工夫する・공부하다」という言葉を使う。また、助詞は似ているものもあるが、韓国語の表現では、「友達を（日本語:に）会う」、大人が（日本語:に）なる、二つに（日本語:で）百円」という言い方をする。語順では、韓国語も同じ膠着語ではあるが、文末に位置する終結語尾は敬語の度合いを示し、日本語の終助詞に該当する箇所は、必ずしも文末とは限らない。その他、敬語については日本語の相対敬語に対し、韓国語では絶対敬語であるため、身内にも尊敬語を用い、授受表現については、韓国語では日本語の授受表

連絡先：平木孝典 t-hiraki@cis.ac.jp

千葉科学大学学務部国際交流課

International Affairs Division, Academic Affairs Office,  
Chiba Institute of Science

(2014年9月29日受付, 2014年12月22日受理)

現のように話者の視点は関係がないため、「ウチ」・「ソト」が絡んでくることはなく、「受け手」が主語であれば「받다・日本語の(もらう)に相当」、「与え手」が主語であれば「주다・日本語の(あげる・くれる)に相当」を常に使うことができる。

このように日本語と韓国語は文法的な統語構造上の相違点や特徴が指摘されるが、例えば挨拶言葉にしても日本人の場合は、「今日はいい天気ですね」と言うところ、韓国人は、「今日は天気がいいですね」という言い方が一般的であるように、言語行動における表現の違いもある。林八龍(2004)は、「文型は、それに対応する文型意味を伴った語順であるが、表現は、両言語の間で文型の相違を捨象した後に残る食い違いを問題にする」(2004:212)<sup>1)</sup>と的確に指摘しているが、前述の日本人と韓国人の挨拶言葉に見られるように、言語表現の「その言語らしさ・自然さ」(2004:209)<sup>2)</sup>は、従来の対照研究では捉えきれない新しい研究領域を指し示している。

本稿はこうした似て非なる日韓対照研究の中でも、日本語と韓国語の表現構造に視点を当て、その違いと特徴を明らかにすることにより、これから韓国語を勉強しようとする学習者の一助に供することを目的とする。

## 1. 先行研究

韓国語に関する対照研究<sup>3)</sup>は、1980年代初頭に梅田博之(1982)の「韓国語と日本語-対照研究の問題点」<sup>3)</sup>があり、対照研究の方法や役割と意義などに焦点が当てられた。同時期に音声・音韻論が浮上し、韓国人日本語学習者の音声習得などの研究が活発になり、動詞や助詞も研究対象となった。90年代に入ると、漢字語や慣用的表現などの語彙論や敬語などの待遇表現が取り上げられ、90年代後期からは談話構造などの言語行動やボイスに関する研究、また、助詞の中でも話者の表現意図が如実に表れる終助詞について、ポライトネスの観点から考察した全賢善(1995)<sup>4)</sup>の研究が、終助詞研究を一層深化させた。

このような日韓対照研究の流れの中で、林八龍(1995)<sup>5)</sup>は、「日本語と韓国語における表現構造の対照考察」という論文を発表し、日韓表現構造論の先駆的役割を担ったが、後に続く研究は、管見によれば、金恩愛(2003)<sup>6)</sup>の「日本語の名詞志向構造と韓国語の動詞志向構造」が目を引く程度に止まっている。

## 2. 研究主題及び研究方法

本稿は先達諸氏の先行研究の成果をふまえ、日韓対照言語表現の中でも、就中、「日本語の体言的表現と韓国語の用言的表現」を研究主題とする。

まず、「日本語の体言的表現」の「体言」とは品詞分類の概念であるが、今日、橋本進吉説によれば、構文上の

機能から体言は名詞と同じように捉えられ、一般的に事物の概念の名を示す語を指している。文法史に沿って鳥瞰すると、大槻文彦の説は有形無形を問わず「文中で体言の資格を得たもの」とし、山田孝雄は名をあらわすと説明するよりは「名目の詞」という位置づけから、実質体言と形式体言とを区別した。松下大三郎は代名詞をも含めて名詞を説き、時枝誠記(1950)は言語過程説により、文の構成要素を陳述の有無によって「詞」と「辞」に二分し、詞の中に体言と用言を含めているが、「國語に於ける體言の中に、比較的自由に主語、述語、修飾語になることの出来るものを名詞と稱するならば、それは noun 或いは substantive の譯語としての名詞に近づくであらう」(1950:59)<sup>7)</sup>との名詞の性格を説き、詞を語形変化するか否かで体言と用言に分けている。いずれにしても体言の認定に関する活用の有無や、主語になるか否かの分類わけは共通している。<sup>8)</sup>

体言の定義を概略的にまとめると、自立語であり、動詞や形容詞のように活用しない、品詞的には、「は、を、が」などの助詞が下接し、関係構成的職能が統辞的に分明化する、コピュラ(繫辞)を伴って述語になるもの、という意義づけができる他、「喋る人形」、「明るい部屋」のような連体修飾語を承ける特徴がある。

このような体言は主語としては勿論のこと、述語にも名詞の形で現れるため、「とりあえずビール」のようなコピュラにあたる繫辞がない名詞で終止する文がある。似た表現に奥津敬一郎(2007)<sup>9)</sup>の「ウナギ文」があるが、「ウナギ文」は、「吾輩は猫である」というような「AはBだ」という構文であり、「ぼくはうなぎだ」の「だ」が、「ーが食べたい・ーを注文する・ーを釣る」などを代用しているからだと説明する。<sup>4)</sup>しかし、「うなぎ文」と「とりあえずビール」の文とはその構文が違い、「うなぎだ」の「うなぎ」は補語として、「だ」という助動詞が下接したコピュラ文であり、「とりあえずビール」の「ビール」は、下接される「ー(を)ください」などが省略された目的語であるが、「だ」という助動詞も省かれているものの、「とりあえずビール」の文も、名詞が単独で述語になる場合が少なくないため、これも体言的表現に含められよう。

文中における「静かな公園」や「深い海」、「考える人」、「先生の本」といった連体修飾語を承けた名詞句も体言的表現に含められるが、文の中の成分に使われる「父が作ったベンチ」といった従属節や名詞型形容詞としての「美しさ・楽しみ」という派生名詞、形容動詞の語幹である「正直・元気」、動詞の連用形である「動き・飲み」、また、本来は副詞であるが、名詞のような働きをする「かなり・また」なども体言的表現に含められよう。

また、「韓国語の用言的表現」の「用言」について触れると、用言は述語となる語であるが、構文論的機能とし

て名詞も述語に含まれるため、日本語の体言的表現に対応する韓国語文が動詞に限らず、判断・命題において主語の動作や状態を表す形容詞などにも変容するところから、活用し、動作、作用、性質、状態などの意を表す品詞を用言とする。<sup>(5)</sup>

また対照研究における研究方法については、1968年にユーゴで開催された近代語教授国際連合の勧告が示唆的である。この勧告事項の「5」には、「対照研究は文構造のレベルにとどまらず、談話の構造、意味論、社会文化、心理言語学のレベルにまで入って行くべきものである」(1974:18)<sup>(10)</sup>と記されているように、従来の語レベルの統語上の形態、構文的論究に止まらず、会話形式で書かれた日韓対訳本などのテキストやディスコースから日韓の言語表現を分析し、実際の運用実態については、日本人及び韓国人に対して行ったアンケート調査結果に基づいて考察を行う。

### 3. 本論 日本語の体言的表現と韓国語の用言的表現

#### 3. 1 日韓表現構造の違い

日本語は語順において、韓国語と似通った統辞的な構造があるため、韓国語学習者に学びやすい言語の一つに挙げられている。<sup>(6)</sup>

「私は日本語を勉強しています」この平叙文を韓国語に置き換えると、

「나는 일본어를 공부하고 있습니다」

「나는(私は) 일본어를(日本語を) 공부하고(勉強して) 있습니다(います)」

このように語順は全く同一であり、膠着語の体も成している。

「家が本当に広いね」この文も同様に韓国語に置き換えると、

「집이 정말 넓군요」

「집이(家が) 정말(本当に) 넓군요(広いね)」

この場合も日本語に訳すと意味は同一であるが、終助詞である「ね」は、韓国語では文末に位置せず、敬語の非格式体である「요」が文末にあり、「ね」に相当する終結語尾の「군」は「요」に上接している。従って、語順は同一ではないが、意味自体の相違はない。しかし、次の文は、日本語では通じて、韓国語では不自然な表現とされる。

「僕、ハンバーグ！ 私も！」

子どもたちは、レストランのショーウィンドウを前にして、このように主張する場合がある。しかし、韓国語では次のように表現する。

「난 햄버거 먹고 싶다! 나두!」

日本語に訳すと、「僕(は)、ハンバーグ食べたい。私も」

日本語では「ハンバーグ」と言うだけで、その場の状況から、「選ぶ・注文する・食べたい」などの意の動詞

を省いても会話が成立する、場面への依存度が高い言語だが、韓国語の場合は「食べたい」という動詞表現を抜きにしては座りが悪く、不自然な語感を与える。

このような日本語の省略された文について金田一春彦(2004)は、「主語、その他の補語、修飾語の類いだけ残して、それを受けることばをつけないこと」「動詞をいうと断定の語気がこもる、それを避けること、そんなようなことから来るものだ」(2004:450)<sup>(11)</sup>と述べ、北原保雄(1981)は、名詞の「実質的な概念」の説明の中で、桜や木といった頭の中に思い浮かべられる語の有する概念はイメージとして結ばれるが、「咲くという動詞の場合は、事物的な概念ではなくて、動作的な概念であるから、頭の中に「咲く」という動作を浮かべるとするのは少し難しくなる」(1981:69)<sup>(12)</sup>と述べている。

一方、林八龍(2004)は、こうした日本語の語彙的な観点に対し、「日本語の場合、事態簡潔で含蓄的な名詞表現でもって静的に捉えようとする傾向が強い反面、韓国語の場合は、事態を具体的且つ説明的に動詞でもって動的に捉えようとする傾向が目立つ」(2004:231)<sup>(13)</sup>と、文法的な側面からは説明しきれない日韓の言語の特性を極めて明解に分析している。

実際、日本語の小説(5冊)と韓国語の小説(5冊)を取り上げ、会話文に占める名詞的表現の割合を調査したところ、日本語の小説の8.6%に対し、韓国語の小説では2.3%であった。これらの小説は、2000年代に発行された300から400頁程の現代小説であり、地の文を除いた全会話文から名詞的表現を取りあげた。尚、名詞的表現の採択に当たっては「佳子。」などの助詞のつかない名前の呼びかけや、「はい。」などの返事、「なに」などの疑問詞や「あ！」などの感嘆詞は除いた。

図1 全会話文中の名詞的表現の割合

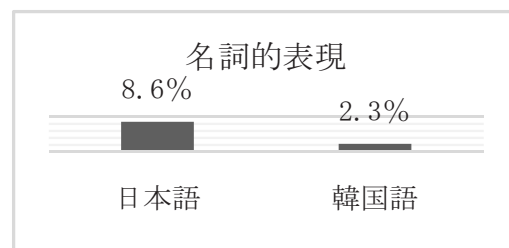


表1 日本語の小説に見られる名詞的表現

日本語の小説	全会話文数	名詞的表現数	割合
1	1531	112	7.3%
2	2443	203	8.3%
3	2267	131	5.8%
4	1930	189	9.8%
5	4767	482	10.1%
計	12938	1117	8.6%

表2 韓国語の小説に見られる名詞的表現

韓国語の小説	全会話文数	名詞的表現数	割合
1	661	18	2.7%
2	1167	29	2.5%
3	671	29	4.3%
4	3007	72	2.4%
5	2573	38	1.5%
計	8079	186	2.3%

表3 日本語及び韓国語の小説<sup>14)</sup>

日本語の小説	1	椎名誠 (2009) 『新宿遊牧民』 講談社
	2	永井すみ (2004) 『ソナタの夜』 講談社
	3	諸田玲子 (2006) 『木もれ陽の街で』 文芸春秋
	4	森沢明夫 (2013) 『ミーコの宝箱』 光文社
	5	野島伸司 (2008) 『スヌスムムリクの恋人』 小学館
韓国語の小説	1	정도상※ (2010) 『낙타』 문학동네
	2	정길연 (2009) 『변명 1』 이룸
	3	남상순 (2012) 『사투리귀신』 창비
	4	박경리 (2012) 『녹지대』 현대문학
	5	박경리 (2013) 『토지 1』 마로니에북스

※韓国語の小説での横並びは、「著者(刊行年度)『書名』出版社」の順となっている。

### 3. 2 日本語の体言的表現の類型化

日本語に対する韓国語の訳本には、日本語の体言的表現に対応する韓国語の用言的表現が、さまざまな構文を駆使して記述されている。本稿では、実際の言語場面が反映されている手紙文やEメールなどの日韓対訳書から

日本語の体言的表現を類型化し、韓国語の用言的表現の諸相を見ることにする。

尚、韓国語の用言的表現の日本語訳について若干説明を加えると、後述の用例には、「私は機械が苦手なので: 제가 기계를 만질 줄 몰라서 그러는데요」→「私は機械を

表4 日韓対訳書<sup>15)</sup>

書名	略称
李哉戔 (2002) 『韓国語の手紙の書き方』 ナツメ社	書き方
小西明子 (2005) 『手紙・Eメールでよく使う韓国語表現集』 ベレ出版	表現集
窪田守弘 (2002) 『映画でハングル』 南雲堂フェニックス	映画
姜宗出 (1997) 『手紙 - 個人の国際交流 -』 韓国文化研究院韓国語出版部	手紙
白宣基・金南昕 (2011) 『Eメールの韓国語』 白水社	メール
貝森時子・洪淳珠 (2013) 『今すぐ書ける韓国語レター・Eメール表現集』 語研	レター
沈智允・朴南圭外1名 (2013) 『使い分けがわかる! 韓国語の類似語』 三修社	類似語
HANA 韓国語教育研究会 (2010) 『1日1文短い文章を読みこなす韓国語リーディング』 アルク	1日

いじることが分からないので」(レター:160)とあるが、「→」を挟んだ前文の「私は機械が苦手なので：제가 기계를 만질 줄 몰라서 그러는데요」の箇所は、日韓対訳書の記載のままだが、後文の「私は機械をいじることが分からないので」の箇所は、前文の韓国語を筆者が翻訳したものである。日本語訳に当たっては、できるだけ韓国語のニュアンスを損なわないように意識を避けて直訳にしたため、日本語としては若干、不自然な言い回しの箇所がある。また、(レター:160)の「レター」とは日韓対訳書の略称であり、数字は掲載頁である。

### 3. 2. 1 名詞箇所の動詞的表現

「私は機械が苦手なので：제가 기계를 만질 줄 몰라서 그러는데요」→「私は機械をいじることが分からないので」(レター:160)。名詞構文は中心概念である「機械」という名詞を、韓国語では「機械をいじる」という動詞文で表現している。

「機械」→「機械をいじる」

「家屋倒壊多数ということですが：주택들도 많이 붕괴됐다고 하던데」→「住宅などもたくさん崩壊されたということだが」(書き方:128)。「家屋倒壊多数」という複合名詞を、韓国語では内実的な意味でもって、「住宅などもたくさん崩壊される」という動詞文で表現している。

「家屋倒壊多数」→「住宅などもたくさん崩壊される」

「学校は苦手なので：학교 다니는 걸 좋아하지 않아서」→「学校に通うことが好きではなく」(書き方:46)。「学校」という名詞を、韓国語では「学校に通う」という動詞文で表現している。この日本語の文では、学校の何が苦手なのかが非明示的であるが、韓国語の文では「通う」という動詞で意味を明らかにしている。

「学校」→「学校に通う」

その他、名詞箇所の動詞的表現は数多く散見できるが、ここでは3例のみを示す。

表5 名詞箇所の動詞的表現〈マーカーは各々対照化された箇所である(以下同様)〉

日本語の名詞的表現	韓国語の動詞的表現
「当方の注文書が未着とのことです」(書き方:189) ※	「저희가 보낸 주문서가 도착하지 않았다고 하니・私どもが送った注文書が到着していなかった」ということで
「家で日曜大工をしたり」(書き方:43)	「집에서 집을 손보거나・家で家を手入れしたり」
「アドバイスをありがとう」(表現集:218)	「어드바이스를 해 줘서 고마워요・アドバイスをしてくれて有難う」

※「未-」が付く接頭辞は、他にも「未払い→지불하지 않다・払わない」「未達成→달성하지 못하다・達成できない」などの動詞的表現がある。因みに、「不-」が付く否定性接頭辞についても同様に、「不能だ→능력이 부족하다・能力が不足する」「不勉強だ→공부를 못하다・勉強が出来ない」などの言い方をする。

### 3. 2. 2 コピュラ文の形容詞的表現

「今も人気ですか？：지금도 인기가 많아요?」→「今も人気が多いの?」(表現集:87)。「人気だ」というコピュラ文を、韓国語では「人気が多い」という形容詞文で表現しているが、コピュラ文は、名詞を述語用言として機能させる特性が窺える。尚、「人気が多い」という日本語には若干、不自然さが否めないが、これは韓国語の直訳によるものである。

「人気だ」→「人気が多い」

「いい声ですね：목소리 좋은데요」→「声がいいですね」(映画:61)。「いい声だ」というコピュラ文を、韓国語では「声がいい」という形容詞文で表現している。

「いい声」→「声がいい」

### 3. 2. 3 コピュラ文の動詞的表現

「私は19歳の女性で、短大生です：나는 열아홉살의 여자이며 이년제 대학에 다니고 있습니다」→「私は19歳の女性で、2年制大学に通っています」(表現集:56)。「短大

生だ」というコピュラ文を、韓国語では「2年制大学に通っている」という動詞文で表現している。「短大生」は韓国語でも「전문대학생・專門大学生」<sup>(7)</sup>という言い方がある。

「短大生だ」→「2年制大学に通っている」

「ほとんど毎日外食です： 거의 매일 외식을 합니다」→「ほとんど毎日外食をします」(表現集:109)。「外食だ」というコピュラ文を、韓国語では「外食をする」という動詞文で表現している。「外食」のみならず、「運動」や「勉強」などのサ変動詞化する漢字(名詞)は、動詞構造化しやすい。

「外食だ」→「外食をする」

「就職して5年目です： 취직 한 지 5년이 되었습니다」→「就職してから5年になりました」(表現集:60)。「5年目だ」というコピュラ文を、韓国語では「5年になる」という動詞文で表現している。

「5年目だ」→「5年になる」

### 3. 2. 4 派生名詞の動詞的表現

「会社帰りには同僚とビールを一杯ひっかけて帰宅します：

회사일이 끝난뒤에는 동료들과 맥주를 한 잔 걸치고 돌아갑니다」→「会社の仕事が終わった後には、同僚たちとビールを一杯やって帰ります」(書き方:42)。「帰り」という動詞の派生名詞を、韓国語では、会社の「仕事が終わった後」という内実的な意味でもって、動詞の連体形の名詞節で表現している。

「帰り」→「仕事が終わった後」

「引越しの荷物もやっと片付き： 이삿짐도 겨우 정리가 끝나서」→「引っ越しの荷物もやっと整理が終わって」(書き方:62)。「片付き」という動詞の派生名詞を、韓国語では「整理が終わる」という動詞文で表現している。

「片付き」→「整理が終わる」

「韓国へ市場調査と買付けに出掛けます： 한국에 시장 조사와 구매를 하러 갑니다」→「韓国に市場調査と購買をしに行きます」(書き方:37)。「買付け」という動詞の派生名詞を、韓国語では「購買をする」という動詞文で表現している。

「買付け」→「購買をする」

その他、派生名詞の動詞的表現は他にも散見できる。

表6. 派生名詞の動詞的表現

日本語の名詞的表現	韓国語の動詞的表現
「唯一の心残り」はあなたと一緒に写っているものがないことです」(書き方:119)	「단하나 마음에 걸리는 것은 당신과 함께 찍은 사진이 없다는 것입니다 ・唯一の心に引っかかることは、あなたと一緒に撮った写真がないということです」
「既に返送済みです」(メール:135)	「이미 반송을 해 드렸는데 말이예요 ・既に返送をしてさしあげたということです」

### 3. 2. 5 (名詞+助詞) 終止文の動詞的表現

「元気かい?: 잘 지내고 있어?」→「よく過ごしている?」(書き方:28)。「元気」という形容動詞の語幹に「かい」という疑問・確かめの意を表す終助詞が下接した文を、韓国語では「よく過ごしている?」という動詞文で表現している。

「元気かい」→「よく過ごしている」

「お幸せに!: 행복하세요!」→「幸せにしてください」(表現集:48)。「幸せ」という形容動詞の語幹に格助詞が下接した文を、韓国語では「幸せにする」という形容動詞の連用形動詞文で表現している。

「幸せ」→「幸せにしてください」

「よい週末を: 좋은 주말 보내세요」→「よい週末を送っ

てください」(表現集:48)。「よい週末を」という形容詞の連体形名詞句が助詞を下接して終止する非明示的な文を、韓国語では「よい週末を送ってください」という動詞的表現で意味を完結させている。

「よい週末を」→「よい週末を送ってください」

その他、(名詞+助詞)終止文の動詞的表現は他にも散見できる。

表7 (名詞+助詞)終止文の動詞的表現

日本語の名詞的表現	韓国語の動詞的表現
「楽しい夏休みを！」(表現集:37)	「여름 방학 즐겁게 보내세요 ・夏休みを楽しく送ってください」
「今ご職業は？」(1日:55)	「지금 직업이 어떻게 되세요 ・今職業がどのようになりますか」

3. 2. 6 (連体形+名詞)文の動詞的表現

「暇な時には、家で家事をしたり：시간이 있을 때는 집안일을 하거나」→「時間がある時は家の仕事をしたり」(書き方:43)。「暇な時」という形容動詞の連体形名詞句を、韓国語では「時間がある時」という動詞の連体形で表現している。

「暇な時」→「時間がある時」

「6時に犬の散歩を兼ねてジョギングをしています：6시에 개도 운동시킬 겸 조깅을 합니다」→「6時に犬も運動させながらジョギングをします」(書き方:43)。「散歩」というサ変動詞化する名詞を、韓国語では「運動をさせる」という動詞文で表現している。

「犬の散歩」→「犬も運動をさせる」

3. 2. 7 (名詞+の+名詞)文の動詞的表現

「芸術家のアトリエ見学も：예술가의 작업실을 방문하는 것도」→「芸術家の作業室を訪問することも」(書き方:44)。(名詞+の+名詞)という名詞が名詞を修飾する連体修飾語は、修飾される「見学」というサ変動詞化する名詞を、韓国語でもそのまま「견학・見学」という単語があるが、ここではアトリエ(作業室)を「訪問する」という動詞文で表現している。

「芸術家のアトリエ見学」→「芸術家の作業室を訪問する」

「いつ見てもツルツルのお肌をしているけれど：언제 봐도 피부가 매끈매끈 한데」→「いつ見ても皮膚がツルツルしているけど」(書き方:71)。「ツルツルのお肌」という名詞修飾文を、韓国語では「皮膚がツルツルする」という動詞文で表現している。

「ツルツルのお肌」→「皮膚がツルツルする」

その他、(名詞+の+名詞)文の動詞的表現は他にも散見できる。

表8 (名詞+の+名詞)文の動詞的表現

日本語の名詞的表現	韓国語の動詞的表現
「月の大半は両親のところで過ごしています」(書き方:90)	「한 달 가운데 대부분은 부모님 계신 곳에서 보내고 있습니다・月の大半は、両親がいらっしゃる所で過ごしています」
「前の家より」(メール:39)	「전에 살던 집보다・前に住んでいた家より」

3. 2. 8 (名詞+の+名詞)文の形容詞的表現

「年下のわたしがナマイキを言うようですが：「나이도 더 어린 제가 건방진 같지만・年ももっと幼い私が生意気

なようだが」(書き方:54)。「年下」という名詞を、韓国語では「年ももっと幼い」という形容詞文で表現している。尚、韓国語でも「연하・年下」という単語があるが、

会話では年下「나이가 적다・年が少ない」、年上「나이가 많다・年が多い」という言い方もする。

「年下」→「年がもっと幼い」

### 3. 2. 9 副詞終止文の動詞的表現

「最近どう? : 요즘 어떻게 지내?」→「この頃、どのように過ごしている?」(表現集:30)。「最近どう」という副詞で終止する文だが、韓国語では「この頃、どのように送っているの?」という動詞文の明示的な表現で、意味の安定化を図っている。

「最近どう?」→「この頃、どのように送っているの?」

### 3. 2. 10 (名詞+連語)の動詞的表現

「全室完備なのでしょうか? : 전 객실에 완비되어 있는 건가요?」→「全客室に完備されているのでしょうか?」(メール:124)。「全室完備」という複合名詞に、助動詞「だ」の連体形「な」に助詞「の」が付き、さらに断定の助動詞「だ」の付いた連語(なのだ)が下接した場合は、韓国語では「全客室に完備されている」という動詞文で表現している。

「全室完備なのだ」→「全客室に完備されている」

「全て手作りなのだそうですよ : 전부 손으로 직접 담근 거라고 해요」→「全て手で直接漬けたそうですよ」(メール:57)。「手作り」という動詞の派生名詞に連語の「なのだ」が下接した場合は、韓国語では「手で直接漬ける」という動詞文で表現している。

「手作りなのだ」→「手で直接漬ける」

### 3. 2. 11 (名詞+連語)の形容詞的表現

「キムチは赤い濃い色なので : 김치는 빨간 색이 진해서」→「キムチは赤い色が濃くて」(手紙:92)。「赤い濃い色」という形容詞の連体形名詞句に連語の「なのだ」が下接した場合は、韓国語では「赤い色が濃い」という形容詞文で表現している。

「赤い濃い色なのだ」→「赤い色が濃い」

### 3. 2. 12 (敬語接頭語+名詞)語の動詞的表現

「ご希望の日程に : 희망하신 일정으로」→「希望される日程に」(レター:86)。「ご希望」という尊敬語の接頭語「ご」にサ変動詞化する名詞を、韓国語では「希望される」という動詞の尊敬語で表現している。尚、韓国語での敬語の作り方は、基本的に動詞、形容詞、形容動詞などの語尾変化をする語の語幹に、尊敬を表す接辞の「시」を付けて敬語化するが、日本語と同様に、「食べる(먹다)→召し上がる(잡수시다)」などの、敬語になると別の単語になる言葉もある。

「ご希望」→「希望される」

「品物をご確認後 : 물품을 확인하신 후」→「品物を確認された後」(レター:184)。「ご確認」という尊敬語の接頭語「ご」にサ変動詞化する名詞を、韓国語では「確認される」という動詞の尊敬語で表現している。

「ご確認」→「確認される」

以上の分析に基づき、韓国語の動詞や形容詞の用言的表現に変容する日本語の体言的表現を類型化すると、次の9パターンにまとめられる。

表9. 日本語の体言的表現の類型化

No.	体言的表現の用言的構造文	例) 日本語→韓国語訳
1	名詞の用言的構造文	学校→学校に通う
2	コピュラ文の用言的構造文	5年目だ→5年になる
3	派生名詞の用言的構造文	片付き→整理が終わる
4	(名詞+助詞)終止文の用言的構造文	良い週末を→よい週末を送ってください
5	(連体形+名詞)文の用言的構造文	暇な時→時間がある時
6	(名詞+の+名詞)文の用言的構造文	両親のところ→両親がいらっしゃる所
7	副詞終止文の用言的構造文	どう→どのように送っているの
8	(名詞+連語)の用言的構造文	全室完備なのだ→全客室に完備されている
9	(敬語接頭語+名詞)語の用言的構造文	ご希望→希望される



3. 3 日韓対訳文庫から見た体言的表現の分類化

「日本語の体言的表現の類型化」(表9)は、主に手紙文での「日韓対訳書」(表4)から韓国語の用言的表現を取り上げ、それを9つのパターンに類型化した。よりディスコースに沿った会話文での諸相を見るため、日韓

対訳文庫の7冊から、日本語の体言的表現に対応する韓国語訳の用言的表現を取り上げ、その計量的度合いから、表現構造の一定の特徴を引き出すことにする。尚、日韓対訳文庫とは韓国の出版社が発行する、日本文学作品の韓国語訳シリーズである。

表10. 日韓対訳文庫<sup>16)</sup>

書名	略称
日韓対訳文庫1『伊豆の踊子』川端康成 (1992) 訳다락원出版部 다락원	伊豆
日韓対訳文庫3『港の少女』壺井栄 (1991) 訳다락원編集部 다락원	港
日韓対訳文庫4『日本漫談』西本鶏介 (1992) 訳다락원出版部 다락원	漫談
日韓対訳文庫5『重要な部分』星新一 (1989) 訳다락원編集部 다락원	重要
日韓対訳文庫8『待っている男』阿刀田高 (1992) 訳다락원出版部 다락원	男
日韓対訳文庫9『動物』大岡昇平(外) (1992) 訳金鐘徳 다락원	動物
日韓対訳文庫10『熱帯樹』三島由紀夫 (1991) 訳다락원編集部 다락원	熱帯

日韓対訳文庫の翻訳趣旨は意識よりは直訳につき、会話文のみならず地の文においても、日本語の名詞箇所が韓国語でもそのまま名詞の直訳になっている箇所が少ないため、日本語の体言的表現に対応する韓国語訳での用言的表現箇所は、全会話文数5784箇所の内、154箇所の2.66%であった。2.66%の内訳は、「文中の名詞の用言的構造文」が最も多く1.27%であり、次に多いのは「(名詞+の+名詞)文の用言的構造文」の0.50%、「(名詞+助詞)文の用言的構造文」の0.27%と続くが、その他の用言的構文は採取例が少ない。特に、「副詞終止文の用言的構造文」や「(名詞+連語)の用言的構造文」、「(敬語接頭語+名詞)語の用言的構造文」などは、稀にしか現れないようである。

「名詞の用言的構造文」

『伊豆の踊子』「海水浴に来たのかもしれませんが: 해수욕하러 왔는지도 모르지요」  
→「海水浴しに来たのかもしれませんが」(伊豆:118)

「海水浴」→「海水浴する」

『日本漫談』「学問がきらいだったので: 공부하기가 싫었기 때문에」  
→「勉強することが嫌いだったので」(漫談:18)

「学問」→「勉強すること」

『待っている男』「この店、長いのか: 이 가게 나온지

오래 됐나?」

→「この店に来てから長くなったの」(男:90)

「店」→「店に来る」

「コピュラ文の用言的構造文」

『伊豆の踊子』「いい顔だね: 얼굴이 말쑥하군」  
→「顔がハンサムだね」(伊豆:168)

「いい顔だ」→「顔がハンサムだ」

『港の少女』「くいほうだいだよ: 마음대로 실컷 먹기다」  
→「思うままに一杯食べることだ」(港:10)

「くいほうだいだ」→「思うままに一杯食べることだ」

『待っている男』「うちのは無口だね: 집사람은 말수가 좀 적다네」  
→「女房は口数がちょっと少ないね」(男:28)

「無口だ」→「口数がちょっと少ない」

「文中の派生名詞の用言的構造文」

『待っている男』「一時が近づき:1시가 가까와 오고」  
→「一時が近づいてきて」(男:54)

「近づく」→「近づいてくる」

「(名詞+助詞) 文の用言的構造文」

『伊豆の踊子』「高等学校の学生さんよ:고등학교의 학생이서」

→「高等学校の学生でいらっしゃるのよ」(伊豆:18)

「学生さん」→「学生でいらっしゃる」

『重要な部分』「お前たちはお払い箱さ:너희들은 쓸모없게 될거야」

→「お前たちは用がなくなるだろう」(重要:22)

「お払い箱」→「用がなくなる」

『待っている男』「いいお天気ね:날씨 참 좋군요」

→「天気が本当にいいですね」(男:34)

「いいお天気」→「天気が本当にいい」

「(連体形+名詞) の用言的構造文」

『重要な部分』「みんなご機嫌な様子じゃないか:모두들 기분들이 좋은 것 같군」

→「みんな気分がよさそうなのね」(重要:16)

「ご機嫌な様子」→「気分がよさそうだ」

『動物』「きっとそれ相当な働きをしますね:틀림없이 그에 상응하는 일을 할 거예요」

→「確かにそれに相当する働きをしましょう」(動物:90)

「相当な働き」→「相当する働き」

『熱帯樹』「陽気な電車だ:생동감 있는 전차지」

→「生動感のある電車だよ」(熱帯:88)

「陽気な電車」→「生動感のある電車」

「(名詞+の+名詞) 文の用言的構造文」

『港の少女』「引っこしの途中です:이사를 가는 도중입니다」

→「引っ越しに行く途中です」(港:158)

「引っこしの途中」→「引っ越しに行く途中」

『待っている男』「東京の短大を卒業して:도쿄에 있는 전문대학을 졸업한 뒤」

→「東京にある専門大学を卒業した後」(男:132)

「東京の短大」→「東京にある専門大学」

『熱帯樹』「あなたがまだ十六のとき:네가 아직 16 살이었을 때」

→「あなたがまだ十六歳だったとき」(熱帯:78)

「十六のとき」→「十六歳だったとき」

「(名詞+連語) 文の用言的構造文」

『重要な部分』「蜜柑箱は蜜柑箱なんだ:귤상자는 귤상자인거야」

→「蜜柑箱は蜜柑箱であるということだ」(重要:24)

「蜜柑箱なのだ」→「蜜柑箱であるということだ」

「(敬語接頭語+名詞) 語の用言的構造文」

『伊豆の踊子』「こんどお通りの時に:요다음번에 지나실 때에」

→「次に通られる時に」(伊豆:16)

「お通りの時」→「通られる時」

『重要な部分』「セールス関係のご用のようすな:세일즈 관계의 용무로 오신 것 같군」

→「セールス関係の用事でいらっしゃったようだな」(重要:38)

「ご用」→「用事でいらっしゃる」

『待っている男』「ご注文の原稿:주문하신 원고」

→「注文された原稿」(男:120)

「ご注文」→「注文される」

表 11 韓国語の用言的表現の出現状況

No.	日本語の体言的表現の分類 ( ) 作品の全文数	伊豆 (564)	港 (482)	漫談 (635)	重要 (848)	男 (1137)	動物 (291)	熱帯 (1827)	計 (5784)
1	文中の名詞の用言的構造文	4	14	11	4	18	4	19	74 (1.27)
2	コピュラ文の用言的構造文	3	4	1	0	3	0	3	14 (0.24)
3	文中の派生名詞の用言的構造文	0	1	0	0	3	0	1	5 (0.08)
4	(名詞+助詞) 文の用言的構造文	1	2	5	1	5	0	2	16 (0.27)
5	(連体形+名詞) 文の用言的構造文	0	0	1	1	2	2	2	8 (0.13)
6	(名詞+の+名詞) 文の用言的構造文	3	3	0	6	10	2	5	29 (0.50)
7	副詞終止文の用言的構造文	0	0	1	0	0	0	0	1 (0.01)
8	(名詞+連語) の用言的構造文	0	0	0	3	1	0	0	4 (0.07)
9	(敬語接頭語+名詞) 語の用言的構造文	1	0	0	1	1	0	0	3 (0.05)
計	用言的構造文数	12 (2.13)	24 (4.98)	19 (2.99)	16 (1.89)	43 (3.78)	8 (2.75)	32 (1.75)	154 (2.66)

※縦系列の「計」での( )は全文数(5784)に対する百分率である。

### 3. 4 日本人及び韓国人に対するアンケート調査

次に言語表現の実際の運用実態を見るため、日本人及び韓国人を対象に、よく使われる日常的な挨拶言葉など三つの問いに対し、各々、①体言的表現、②用言的表現に分けた日本語及び韓国語の同一文についてアンケート調査を行った。日本人への調査は10代から60代までの

男女計56名の回答であるが、その内、32名は大学生であり、残りの24名は主婦及び勤労者である。韓国人については10代から40代までの男女計47名の回答であるが、その内、23名は主に日本に留学している学生であり、残りの24名は韓国在住の学生及び勤労者である。

表 12 アンケート項目

問	言語	①体言的表現	②用言的表現
1	日本語	いい天気ですね。	天気が良いですね。
	韓国語	좋은 날씨네요.	날씨가 좋네요.
2	日本語	あ、雨だ。	あ、雨が降っている。
	韓国語	앗, 비다.	앗, 비가 왔다.
3	日本語	僕/私、ラーメン。	僕/私、ラーメン食べたい。
	韓国語	난, 라면.	난, 라면 먹고 싶다.

※アンケート用紙については、「付属資料」を参照されたい。

表13 日本人の回答

区分	男	女	計	合計	
問1	①	23	24	47 (83.9%)	56 (100%)
	②	4	5	9 (16.1%)	
問2	①	24	26	50 (89.3%)	56 (100%)
	②	3	3	6 (10.7%)	
問3	①	17	14	31 (55.4%)	56 (100%)
	②	10	15	25 (44.6%)	

表14 韓国人の回答

区分	男	女	計	合計	
問1	①	18	11	29 (61.7%)	47 (100%)
	②	9	9	18 (38.3%)	
問2	①	25	20	45 (95.7%)	47 (100%)
	②	2	0	2 (4.3%)	
問3	①	21	16	37 (78.7%)	47 (100%)
	②	6	4	10 (21.3%)	

図2 日本人の回答

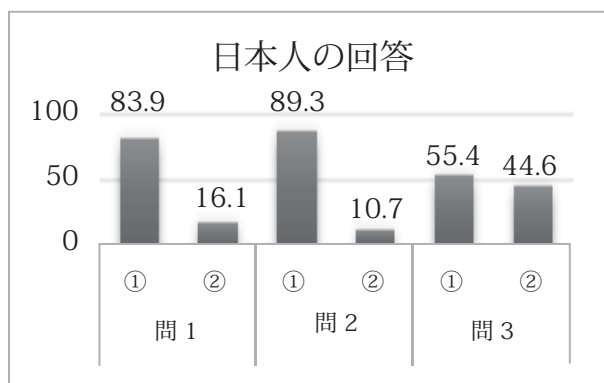
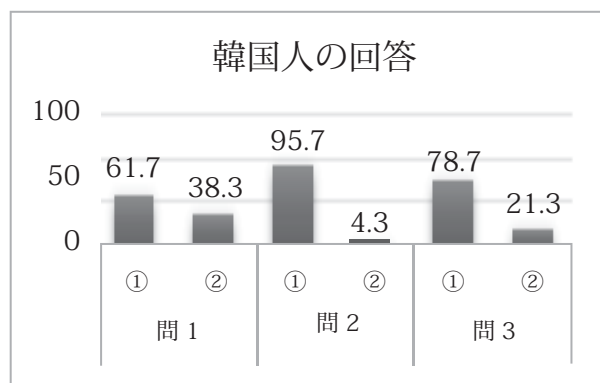


図3 韓国人の回答



その結果、日本人の調査では、問1、問2はほぼ①の体言的表現であるが、問3は用言的表現が目立ち、①、②が二分している。一方、韓国人への調査では、問2はほぼ①の体言的表現を選び、問1、問3も①の体言的表現に比重がかかっている。この調査結果を見る限りでは、先行研究での金恩愛(2003)の「日本語は韓国語に比べ、構造的に名詞を志向し、韓国語は逆に動詞を志向する」(2003:69)<sup>17)</sup>という考察に、必ずしも沿ってはいないようである。就中、韓国人の回答では、23名の在日の韓国人より、24名の韓国在住の韓国人の方が、体言的表現を選択している点に注目したい。

考えられる問題点としては、最近の携帯電話などの略字の影響があるようである。韓国のテキスト送信サービスには80バイトまでという容量制限があるため、韓国のハングル一文字が2バイトにつき、一回に送れる文字数は40字に限られることになる。そのため、「KY→空気が読めない」「HK→話、変わるけど」「着メロ→着信

表15 居住別韓国人の回答

項目		日本在住韓国人	本国在住韓国人
問1	①	14 (60.9%)	15 (62.5%)
	②	9 (39.1%)	9 (37.5%)
問2	①	21 (91.3%)	24 (100.0%)
	②	2 (8.7%)	0 (0%)
問3	①	16 (69.6%)	21 (87.5%)
	②	7 (30.4%)	3 (12.5%)

メロディー」などの日本語と同様に、韓国でも略字を使った表現が見られる。韓国語では、『「携帯電話」は핸폰(ヘンボン)、「先生」は쌤(セム)、「一生懸命勉強する」は열공(ヨルゴン)などなど。핸폰は핸드폰(ヘンドゥボン:携帯電話)、쌤は선생님(ソンセンニム:先生)、열공は열심히 공부하다(ヨルシミコンブハダ:一生懸命勉強す

る)の略です』<sup>18)</sup>という紹介があるが、その中でも、「열심히 공부하다・一生懸命勉強する」という動詞文を、「열공・熱工」という名詞で表現する例は、韓国人の用言的表現から体言的表現への移行の一端を物語っている。

こうした傾向は、前田他1名(2011)が、韓国語にも主語以外の省略が見られる例として、「ぼくはカレーだ」というコピュラ文を取り上げ、『(食堂で注文するとき)僕はカレーライスを食べるという意味で発せられる言葉ですが、述語が省略されています。韓国語でもこういう省略はそのまま「난 카레다」(日本語訳;ぼくはカレーだ)で通じます』(2011:16)<sup>19)</sup>と述べ、奥津敬一郎(2007)も、『私はキムチです』ということが、韓国語で言えるかどうか、というように、韓国人に聞きますと、間違いなく「言える」というように答えてくれました』(2007:59)<sup>20)</sup>と述べているように、これらの例は、韓国語の体言的表現構造化の傾向を示唆しているようである。

#### 4. まとめ

本稿は、従来の先達諸氏の研究をふまえ、日本語の体言的表現に対する韓国語での用言的表現という、二極構造化された言語表現構造の言語特性について、対照言語学的な視点から考察した。研究方法としては、会話文で書かれた日韓対訳本などのテキストやディスコースから、日韓の言語表現を分析し、実際の運用実態については、日本人及び韓国人へのアンケート調査により考察した。その結果、日本語の体言的表現については、新屋映子(2003)も述べているように、「欧米型言語が名詞を核として主語と述語の関係を明確にするという意味で名詞中心言語であるとするならば、日本語は事態そのものを名詞的に把握し、表現するという意味で、名詞中心言語であると言える」(2003:144)<sup>21)</sup>という主張が、アンケート調査などで概ね首肯できるが、韓国語の用言的表現については、いささか趣を異にした。従来の研究では、韓国人は動詞的表現を志向するとされていたが、アンケート調査の結果では、日本人と同様に体言的表現を用いる傾向が見られた。その要因の一つとして、携帯電話などの略語の影響を指摘した。

また、日本語の体言的表現が、どのような構造文のときに韓国語では用言的表現に変容するのかという点について、日韓対訳文庫から調べたところ、主にサ変動詞化しやすい名詞の場合や、名詞と名詞を属格助詞「の」で連結した連体修飾語などの場合に、韓国語では名詞の内実的意味を説明的、明示的に表現する用言的表現になりやすい点を指摘した。

しかし、小松英雄(1999)が述べているように、「あらゆる言語がそうであるように、有史以来、日本語も変化しつづけてきたし、現在も変化しつづけている。いつの時期の言葉も変化の過渡期にある。換言するなら、安

定していないのが言語の正常な状態である」(1999:36)<sup>22)</sup>という言語の「ユレ」を言語特質として認めると、韓国語の用言的表現についても、限られた言語資料や調査サンプル数に制約があるものの、今回取り上げた日韓対訳文庫やアンケートの回答から、韓国語における一定の流動的な表現様相を垣間見ることができた。

今後は、より多くの実例を踏まえた計量調査を通し、日本語の体言的表現に対応する韓国語訳の用言的表現の類型化を精査し、可能な限り両国語の表現構造の違いを明らかにすることにより、その原因となる言語的諸条件や要因の究明を課題としたい。

#### 5. 参考文献

- 1) 2) 13) 林八龍:日・韓両語の表現構造の対照研究-日本語の名詞的表現に対する韓国語の動詞的表現を中心に-.日語日文学研究,韓国日語日文学会,50(1),211-233,2004
- 3) 梅田博之:韓国語と日本語-対照研究の問題点.日本語教育,48,31-42,1982
- 4) 全賢善:韓国語文末表現の構造分析-日本語の終助詞「ね」、「よ」と対応させて-.ことばの科学,名古屋大学大学院言語文化研究委員会,105-122,1995
- 5) 林八龍:日本語と韓国語における表現構造の対照考察-日本語の名詞表現と韓国語の動詞表現を中心として,宮地裕・敦子先生古希記念論叢日本語の研究,明治書院,東京,1995
- 6) 17) 金恩愛:日本語の名詞志向構造と韓国語の動詞志向構造.朝鮮学報,朝鮮学会,188,1-83,2003
- 7) 時枝誠記:岩波全書114日本文法口語編.岩波書店,東京,1950
- 8) 時枝誠記・遠藤嘉基:口語文法講座6用語解説編.明治書院,東京,2009
- 9) 20) 奥津敬一郎:言語における普遍と特殊-うなぎ文の世界-.2007年度,第1回日本語特別講演会の講演原稿,43-61,2007
- 10) Robert J.Di Pietro.訳小池生夫:言語の対照研究.大修館書店,東京,1974
- 11) 金田一春彦:金田一春彦著作集第四巻.玉川大学出版部,東京,2004
- 12) 28) 29) 北原保雄:日本語の世界6日本語の文法.中央公論社,東京,1981
- 14) 椎名誠 :新宿遊牧民,講談社,東京,2009  
永井すみ:ソナタの夜,講談社,東京,2004  
諸田玲子 :木もれ陽の街で,文芸春秋,東京,2006  
森沢明夫:ミーコの宝箱,光文社,東京,2013  
野島伸司 :スヌスムリクの恋人,小学館,東京,2008  
정도상 :낙타,문학동네,韓国,2010  
정길연 :변명1,이룸,韓国,2009  
남상순 :사투리귀신,창비,韓国,2012

- 박경리: 녹지대, 현대문학, 韓国, 2012  
 박경리: 토지 1, 마로니에북스, 韓国, 2013
- 15) 李裁彧: 韓国語の手紙の書き方, ナツメ社, 東京, 2002  
 小西明子: 手紙・Eメールでよく使う韓国語表現. ベレ出版, 東京, 2005  
 窪田守弘: 映画でハングル. 南雲堂フェニックス, 東京, 2002  
 姜宗出: 手紙-個人の国際交流-. 韓国文化研究院韓国語出版部, 東京, 1997  
 白宣基・金南昕: Eメールの韓国語. 白水社, 東京, 2011  
 貝森時子・洪淳珠: 今すぐ書ける韓国語レター・Eメール表現集. 語研, 東京, 2013  
 沈智允・朴南圭・安才由紀恵: 使い分けがわかる! 韓国語の類似語, 三修社, 東京, 2013  
 HANA 韓国語教育研究会: 1日1文短い文章を読みこなす韓国語リーディング. アルク, 東京, 2010
- 16) 日韓対訳文庫1『伊豆の踊子』, 川端康成, 訳다락원出版部, 다락원, 韓国, 1992  
 日韓対訳文庫3『港の少女』, 壺井栄, 訳다락원編集部, 다락원, 韓国, 1991  
 日韓対訳文庫4『日本漫談』, 西本鶏介, 訳다락원出版部, 다락원, 韓国, 1992  
 日韓対訳文庫5『重要な部分』, 星新一, 訳다락원編集部, 다락원, 韓国, 1989  
 日韓対訳文庫8『待っている男』, 阿刀田高, 訳다락원出版部, 다락원, 韓国, 1992  
 日韓対訳文庫9『動物』, 大岡昇平(外), 訳金鐘徳, 다락원, 韓国, 1992  
 日韓対訳文庫10『熱帯樹』, 三島由紀夫, 訳다락원編集部, 다락원, 韓国, 1991
- 18) 【おもしろ韓国語講座 # 025】: <http://nazdravie.exblog.jp/733391/>
- 19) 前田真彦・山田敏弘: 日本語から考える! 韓国語の表現. 白水社, 東京, 2011
- 21) 新屋映子: 日本語の述部における名詞の機能. Journal CAJLE, Vol.5.131-147.2003
- 22) 小松英雄: 日本語はなぜ変化するか. 笠間書院, 東京, 1999
- 23) 平木孝典: 日本語に適合したハングル表記法. 倉敷芸術科学大学紀要, 19, 225-237, 2014
- 24) 平木孝典・鄭昇逸: スグ使えるケース別韓国語会話集. 大学新聞社, 東京, 2012
- 25) 日韓対照研究文献目録:  
[http://mixi.jp/view\\_bbs.pl?comm\\_id=1557995&id=15362492](http://mixi.jp/view_bbs.pl?comm_id=1557995&id=15362492)
- 26) 27) 金田一春彦: 金田一春彦著作集第一巻. 玉川大学出版部, 東京, 2003
- 30) 村木新次郎: ひつじ研究叢書(言語編)第100巻日本語の品詞体系とその周辺. ひつじ書房, 東京, 2012
- 31) 韓日交流センター: 発音と活用がわかる! 韓国語のルール. 成美堂出版, 東京, 2012

李志映: 短いフレーズでかんたんマスター韓国語. 新星出版社, 東京, 2011

李蓮玉: 驚くほど身につく韓国語. 高橋書店, 東京, 2012  
 李思周: 韓国語日常フレーズBOOK. 高橋書店, 東京, 2014

## 6. 注記

注1; 日本語と韓国語の音韻体系の相違点については平木孝典(2014:225-237) 23) を参照されたい。

注2; ハングルのカタカナ表記の中で、家族「가족・カジヨク」、空「하늘・ハヌル」、近い「가깝다・カカプタ」にある、小文字の「ク、ル、プ」は、ハングルの発音上、例えば「ク」の場合は、「ク」と発音したつもりで舌の付け根で喉を閉じ、「ク」とは声に出して発しない音につき、小文字で表記した。その他の発音は平木孝典(2012) 24) を参照されたい。

注3; 日韓対照研究史は次のサイトに詳しい。25) 「日韓対照研究文献目録2007年02月16日」 [http://mixi.jp/view\\_bbs.pl?comm\\_id=1557995&id=15362492](http://mixi.jp/view_bbs.pl?comm_id=1557995&id=15362492)

注4; 奥津敏一郎の「うなぎ文」の先行研究には金田一春彦のがあり、「ウナギ文」を「日本的表現の極地」(2003-38) 26) と称し、「日本人は、話さないこと、書かないことをたつとぶ。その結果として、どうしても話さなければならぬ、書かなければならぬという場合には、それを最小限にとどめるのをよしとする原理が副次的に成立する」(2003:26) 27) と述べ、このような少しでも言葉数を少なくしようとするのが、日本人の心理の表れであると説明する。

一方、北原保雄は、金田一春彦の述語代用説に対し、「ぼくが うなぎが 食べたい⇒ぼくが食べたいのは うなぎだ⇒ぼくのは うなぎだ⇒ぼくのは うなぎだ⇒ぼくは うなぎだ のようにして成立する」(1981:292) 28) と考えるのが分裂文説であり、「うなぎ文は分裂文から説明される」(1981:308) 29) と主張する。

注5; 述語の定義について村木新次郎は、「述語は、さしだされた物事(主語)について、〈運動・状態・特性・関係・質〉などの属性をあらわす」「文をまとめあげる機能をもつ」(2012:53) 30) と述べている。

注6; 市販されている韓国語教材の多くは、韓国語学習の容易さを説いている。31)

「韓国語は多くの点で驚くほど日本語とよく似ています」(2012:3) 韓日交流センター: 発音と活用がわかる! 韓国語のルール. 成美堂出版, 東京, 2012

「特記①韓国語の語順は日本語と同じ。特記②発音が似ている単語が多い」(2011:12) 李志映:

短いフレーズでかんたんマスター韓国語. 新星出版社, 東京, 2011

「韓国語は日本語にとってもよく似たことばで、文法的に学習しなければならない点はほとんどありません」

(2012:はじめに) 李蓮玉:驚くほど身につく韓国語. 高橋書店, 東京, 2012

しかし、中には否定的な説明の教材もある。

「日本語と韓国語は、とかく共通点が多いと思われがちですが、じつは異なる側面も多い言語なのです」(2014:はじめに) 李思周:韓国語日常フレーズBOOK. 高橋書店, 東京, 2014

注7: 韓国の教育機関の一条校は、小学校→初等学校、中学校→中学校、高等学校→高等学校、短期大学→専門大学、大学→大学校(5年制の高等専門学校は不設置)と称する。従って、「千葉科学大学薬学部」をそのまま韓国語で表記すると、「大学」の表記が短期大学の「大学」に間違われやすく、韓国式では「千葉科学大学校薬科大学」とするのが4年制大学の表記になる。また、韓国では、日本の大学の学長は総長、短期大学の学長は同じ学長、学部長は○科大学長と称するため、薬学部長は薬科大学長につき、短期大学の「学長」と紛らわしい。

日本語表記「○○短期大学○学部」

→韓国語表記「○○大学○学部」

日本語表記「○○大学○学部」

→韓国語表記「○○大学校○科大学」